

達成度（評価）
 A：十分達成できている
 B：おおむね達成できている
 C：やや不十分である
 D：不十分である

学校名	武雄市立武雄中学校
1 前年度 評価結果の概要	全職員校内研究やICT活用など職員研修を積極的に取り組み、指導力の向上に取り組んできた。しかし学力向上においては、県の学習状況調査結果は県平均を下回る教科が多く、今後の課題であり有効的な改善策をたて学力の向上に繋げる必要がある。心の教育については、いじめの未然防止、早期対応と生徒指導部を中心にきめ細やかに対応している。アンケート結果からも生徒・保護者ともに約90%が「はやく、きちんと対応している」と高い評価をえて、大きな問題にならずにすんでいる。不登校対策は教育相談担当を中心に関係機関やSC.SSWと連携を密にしながらかめ細やかに行っている。引き続き不登校0を目標に担任ばかりでなく、全職員で組織的に取り組む必要がある。昨年度もコロナ禍で地域行事への参加や地域人材を招聘しての郷土愛を育む教育活動が十分にできなかった。しかし各学年キャリア教育を通して郷土愛につなげた取り組みを進め、生徒の高評価に繋がった。今後も武雄市の教育方針に基づき、キャリア教育、防災教育、特別支援教育には重点的に取り組む必要がある。昨年度から働き方改革として、定時退勤日、部活動休養日の徹底を図り、業務負担の軽減を図ってきた。教職員の100%近くが、部活動と休養日のバランスが図れたと答えている。今後も業務改善と働き方改革を進め、適正な健康管理を図るとともに生徒の充実した学習活動に繋げていく。
2 学校教育目標	高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成
3 本年度の重点目標	① キャリア教育の一層の充実を図り、学ぶ意義を理解させる。 ② 出番と役割を与え、承認する「開発的生徒指導」を実践する。 ③ 教職員が健康的に日々の業務に従事できる環境整備に努め、質の高い教育を実践する。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●振り返りの時間を適切に設けた授業をおこなった成果指標を達成した教師80%以上	・学習評価を意識した授業を実施し、授業始めに前時の振り返りを行ったり、授業のまとめとして毎時間、授業内容のまとめの振り返りを行う。							学力向上Co 研究主任
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	・校内研究の総括時のアンケートで、基礎的・基本的な「知識・技能」の習得を目的とした、振り返りの時間を適切に設けた授業をおこなった教師80%以上。 ・提示した学習課題や自主学習ノートを毎日チェックした教師80%以上。	○基礎的・基本的な「知識・技能」の習得を目的とした、振り返りの時間を適切に設定する。 ○「知識・技能」の定着に向けた、個に応じた課題の出し方を工夫する。また、単元テストや小テスト等を実施して、学力の定着が不十分な生徒には必要に応じて個別指導を行う。							学力向上Co 研究主任
	○ICT機器を活用した授業の充実	○教師の授業での効果的なICT機器活用率85%以上	・授業の中で、ICT機器を効果的な活用を図り、実践例を共有する。 ・タブレットドリルを活用した、学習内容の補充や家庭学習の充実を目指す。 ・Meetを活用したりリモート授業の配信手順の共有。							ICT教育担当
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	●道徳教育や人権・同和教育の計画に基づいて授業や教育活動を行った教師80%以上	・道徳科の授業づくりに関する校内研修等を実施する。 ・人権集会や平和集会及び人権・同和教育の授業を実施する。							道徳主任 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見・早期対応体制の充実	●「先生は、いじめや悩みがあれば早くきちんと対応してくれる」と回答した生徒85%以上	・毎月第3木曜日にいじめアンケートを実施する。 ・アンケートに記載された内容は漏れなく聞き取りを行い、複数職員で早急に対応する。 ・いじめの認知について、教職員の共通認識を図り、適切な支援・指導及び未然防止に全職員で取り組む。 ・いじめ対応に関する研修会を全職員向けに9月に実施する。 ・臨場指導を行う。							生徒指導主事
	○支持的風土づくりの醸成	○「学級に自分の居場所がある」と回答した生徒85%以上 ○「自分の役割や出番がある」と回答した生徒80%以上	・学級活動の充実を図る。実態に応じて構成的グループエンカウンター、ソーシャルスキルトレーニングなどを取り入れ、計画的に行うことで、よりよい人間関係をつくる。 ・生徒会活動や学校行事等さまざまな場面において、生徒に役割と出番を与え、認め合う場を設定する。							特別活動主任
	○教育相談体制の充実	○不登校の生徒6.0%以下	・教育相談部連絡会を週に1回開催し、気になる生徒に対する初期対応及び深刻な問題へ発展しないための組織的対応を行う。 ・保健室入室者や欠席者、気になる生徒を全職員で把握し、対応する体制を強化し、予防や早期発見を図る。 ・スクールカウンセラーの活用を工夫し、全生徒への支援を充実させる。							教育相談主任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒98%以上 ○朝食をとって登校する生徒94%以上	・食に関する授業を行う。 ・食育たよりを発行する。 ・生徒の生活状況を聞き取り個別指導を行う。							栄養教諭 給食主任
	○健康の維持・増進	○「睡眠時間を6時間以上とっている」と回答した生徒87%以上	・睡眠の大切さを伝え、睡眠時間を6時間以上とることを目安として健康増進を図る。 ・保健たよりを発行する。 ・生徒の生活状況を聞き取り個別指導を行う。							養護教諭 保健主事
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限（月45時間）の遵守	・全職員に週一回の定時退勤日（TKデー）を設定させ、ワークライフバランスのとれた生活を推奨し、働き方改革につなげていく。 ・管理職は業務記録表（タイムカード）やヒアリング等をもとに相談や指導をおこない、時間外労働時間を月45時間以内にするため具体的な業務改善を推進する。							管理職
	○適正な部活動の運営	○「休養日を適切に設定し、活動と休養のバランスを図った部活動運営を行った」と回答した教師90%以上	・部活動運営計画に則り、休養日を設定する。 ・毎月第3日曜日の「県下一斉部活動休養日」の実施							部活動担当

評価項目	取組内容	成果指標（数値目標）	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
				進捗度（評価）	進捗状況と見通し	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言	
○高い志と誇りを持つ教育の推進	○生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」と回答した生徒85%以上	・キャリアパスポートを活用したキャリア教育を期間や指導方法を示して計画的に行う。 ・各種体験活動では、生徒に見通しと学びの振り返りを取り入れた活動を行わせる。							進路指導主事
	○郷土愛を育む教育活動	○「我が町の特長をよく知り、我が町に誇りや愛着を持っている」と回答した生徒80%以上	・学年の段階に応じて、「武雄の良い所」について探求する授業や教育活動に取り組む。 ・そのために、フィールド・ワークを含む調査活動や情報収集活動に取り組み、得られた成果を様々な手段で表現する活動を計画し、実践する。							進路指導主事 総合学習担当
○危機の未然防止	○安全な生活環境の確保	○「学校は安全に過ごせる」と回答した生徒80%以上。	・避難訓練・安全点検を実施し、生徒・教職員の安全の確保、交通事故・生活事故防止に対する意識を高める。 ・防災教育を実施する。 ・生活部の保護者と連携し、年に3回程度朝の交通指導を行い、交通事故の未然防止につなげる。							安全教育担当
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80%以上	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・ケース会議を開催し、情報共有を図る。 ・個別の支援計画・指導計画を作成し、計画的な支援を行う。							特別支援教育Co

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--